

“おおだて型学力向上”を目指した 各小・中学校の教育課程の工夫

平成27年度も残すところ1か月ほどとなりました。今年度の子どもたちの成長ぶりはいかがでしたでしょうか。各校では、今年度の取組を振り返り、新年度の計画を作成しはじめていることと思います。

2月上旬に開催した教務主任協議会では、今年度各校で実践した「おおだて型学力推進に向けた取組の成果と課題」について紹介し合い、新年度のよりよい実践を目指して情報交換をしました。その中から小学校での実践事例を2例、小・中連携の実践例2例と各中学校区の成果のまとめを紹介します。各校の参考になれば幸いです。

自校課題の解決に向けた取組

1 課題対応能力(課題発見・課題解決)を高めるために

－「チャレンジ活動」ふるさとキャリア教育を通しての実践（花岡小）－

(1)活動内容

- ・クリーンアップ活動・・・地域の方々へも呼びかける
- ・チャレンジフラワーストリートプロジェクト・・・道路の両側200mに花を植える
- ・よさこいソーラン・・・運動会、学習発表会で披露

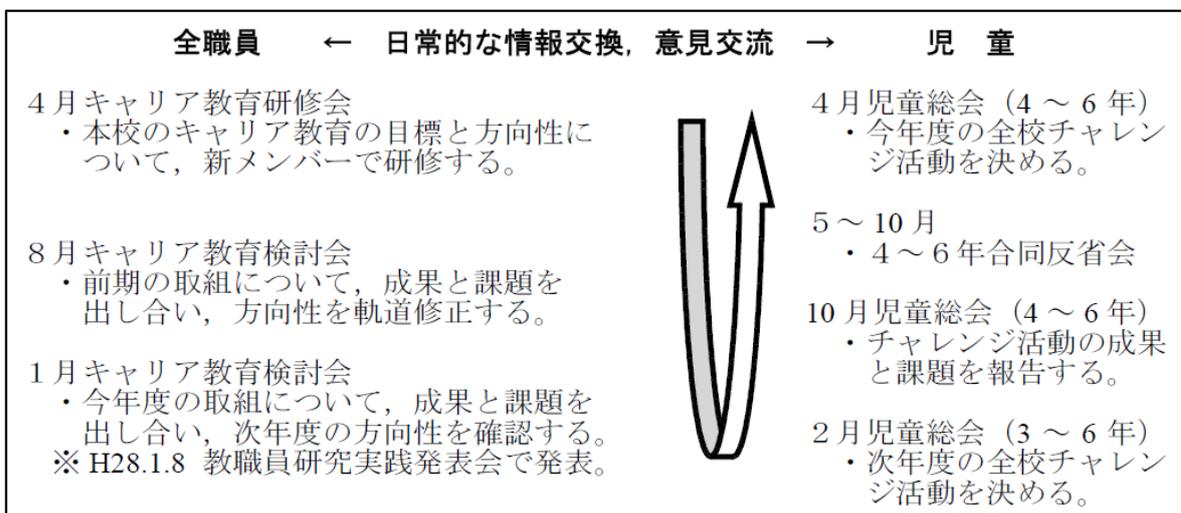
(2)教師の姿の確認(実践を始める前に「どの場面」の見極めが大事であるかを共通理解)

- ①失敗から学ばせる場面
- ②初めから指導して教えた方がよい場面
- ③活動の途中で介入して指導する場面



地域の方への説明

(3)振り返りの機会の設定(教師も児童も実践の見直し)



(4) 成果

実践する前、何のために、どんな力を付けるために行うのかを意識させた。振り返りでは、どんな力が付いたのか、課題は何かを自覚させて、次の活動に生かすようにしてきた。その結果、どんな困難な壁にぶつかっても、自分たちで解決しようとするようになってきた。

年4回の「チャレンジ活動」を通して何度も失敗を重ねて経験するうちに、本気で取り組む児童の姿勢が随所に見られるようになった。



計画反省は子どもたちで

2 主体的実践力・自己肯定感を高めるために

－重点指導項目を繰り返し指導して高めていった実践（東館小）－

(1) 各指導部の重点指導項目

研修・学習指導部	・・・	「話し力アップ」	6, 11, 1・2月
生徒指導部	・・・	「あいさつ力アップ」	4, 7, 10月
保健指導部	・・・	「わんぱく力アップ」	5, 8・9, 12月

※月初めの全校朝会で月目標・具体的な実践事項を提示してから実践を進める。
3月は1年間を振り返って各自の伸ばしたい力・実践内容を選んで実践する。

(2) 繰り返し指導した実践例：「あいさつ力アップ」

① 4月 時と場に応じたあいさつの指導…今週のあいさつキング(運営委員によるあいさつのよい学年の発表) ➡大きな声であいさつできるようになったが、相手の目を見てできない。

② 7月 相手の目を見て笑顔であいさつすることの指導…全校朝会で笑顔であいさつする練習、今週のあいさつキングの継続、あいさつポイントカード(一日のあいさつを自己評価して点数化) ➡目を見てあいさつができるようになったが、笑顔で今一つ。

③ 10月 自分から笑顔であいさつすることの指導…あいさつポイントカードの継続、朝玄関ホールに笑顔の関所(笑顔であいさつできなかった子は、鏡を見て笑顔の練習をしてもう一度関所へ)、今週のあいさつキングは個人を表彰



笑顔の・鏡

(3) 自己肯定感を高めるために

各月の実践で、提示→実践→実践の紹介→成果の賞賛という流れを作った。



12.1 全校朝会
なわとび運動の提示



1.19 児童集会
練習の成果を披露



1.25 給食の時間後
各学年のなわとび優秀者の表彰

(4) 成果

各指導部が、目標を一つに絞って年間を通して指導した結果、ステップを踏んだ指導や、前回のよかった点や改善点を生かした指導できるようになり、それが児童の成長となって表れた。それが、児童にとって自信となり、落ち着いた生活や、学習面など多方面に波及し、アンケート調査(学習状況調査等)の自己肯定感の向上にもつながった。

小・中連携を推進するための取組

各中学校区で小・中連携テーマを設定し、「学習」「生活」「健康・体力」「ふるさとキャリア教育」「1年生部会」など、規模に合わせて様々な部会を設定して、共通実践事項の確認や生徒の様子を共有を図っている。

1 小・中連携部会組織と実践内容 (大館一中学区)

A 学習指導部会

- ・授業での話し合い活動を充実させたり、家庭での学習習慣を定着させたりするための共通実践。

B 生徒指導部会

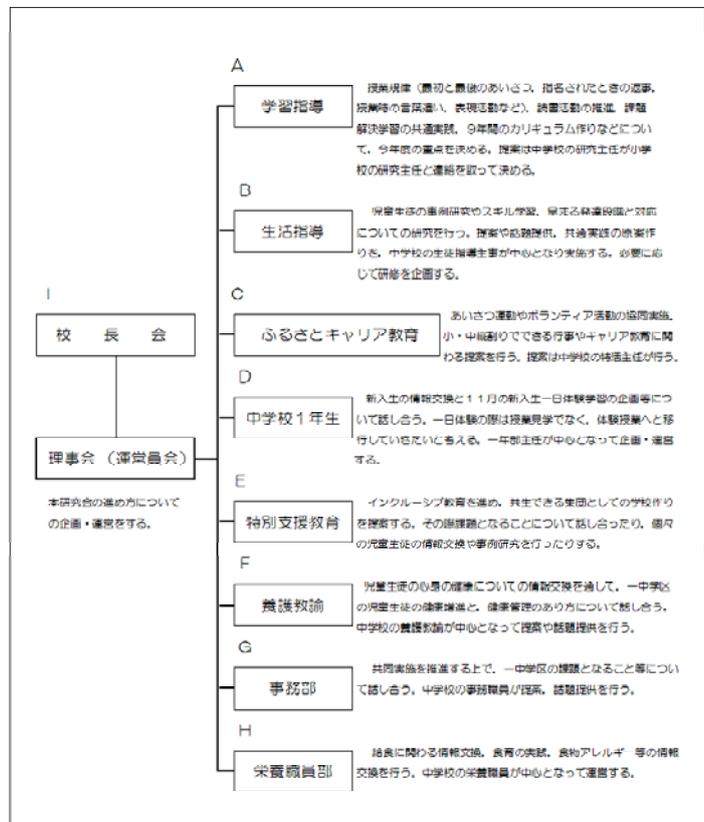
- ・児童と生徒が交流しながらのあいさつ運動。
- ・情報交換

C ふるさとキャリア教育部会

- ・各校のふるさとキャリア教育、総合的な学習の時間の取り組みを紹介。
- ・小・中合同でのアルミ缶回収、「Oh!アルミ缶 Dream」。年次計画で取り組み、車いすを購入予定。
- ・合同でのクリーンアップの実施。

D 中学校1年生部会

- ・1年生の情報交換。
- ・「中学校一日体験入学」の内容についての話し合い。



大館一中学区小中連携の組織図



城西小前での合同あいさつ運動

2 小・中連携実践内容の例(成章中学区)

— 成章9年教育 ”本気の小・中連携” —

- ・小・中連携協議会(H27年度中学校会場)(6月)
- ・小・中合同あいさつ運動(年3回)6月, 8月, 10月
- ・てくとく運動の同日開催(年2回)7月, 10月
- ・学習面における共通実践事項
 - タイムスケール, ハンドサイン, 話型, つなぎ合い, 家庭学習習慣の確立(ノート紹介)
- ・お互いの研究授業の参観

- ・小・中合同町内奉仕活動の実施（長期休業中）
- ・小・中合同学校保健委員会（歯科）（9月）
- ・校長賞の実施（年3回）
- ・中学校体験入学（11月）

3 各校での主な成果(成果のまとめ)

- ◎確かな学力の定着には、義務教育9年を見越した取組が大切になる。小・中連携研究会で話し合ったことを柱に、学区のスタイルが確立されつつある。
- ◎小・中連携してハンドサインや話型を統一したことにより、中学校に入学してからスムーズに学習に入ることができる。
- ◎中学校として小学校で身に付けてほしいことや、小学校で行っている取組の中で、中学校で継続して行えることなどについて、各教科で具体的な話合いができた。
- ◎生活面においても、小・中の情報交換や生徒指導の機能を生かした集団づくりを展開してきたことで、落ち着いた学校生活につながっている。
- ◎合同あいさつ運動は、お互いの学校をリーダーが訪問して行っているので、小学生が中学生を手本にしたり、中学生が小学生の元気さと比較したりするよい機会となっている。
- ◎小・中合同で行う学校保健委員会は保護者・生徒も参加しているので共通の課題を認識し合えるよい機会となっている。

【参考資料】

平成27年度秋田県学習状況調査

～大館市平均正答率～

次年度に向けた取組に生かしてください。

<小学校>

学 年	4 年 生			5 年 生				6 年 生			
	国語	算数	理科	国語	社会	算数	理科	国語	社会	算数	理科
市平均	73.1	65.3	80.3	57.4	68.5	71.3	75.1	69.1	69.3	67.4	81.4
県平均	73.6	64.0	76.7	56.4	70.6	69.8	74.4	68.2	66.1	62.8	79.2

<中学校>

学 年	1 年 生					2 年 生				
	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
市平均	58.3	71.1	49.9	69.4	74.5	58.6	58.6	60.3	73.4	65.0
県平均	59.4	68.6	49.3	69.2	72.9	56.4	58.3	59.7	71.1	67.3

* 網かけ以外は、県平均を上回っているところ

(教育研究所)

■おおだて型学力推進委員会よりお知らせ

去る2月24日の委員会の協議により、第8次学力向上に関する提言の期間をH26～30年度までの5年間に延長することとしました。これは、「おおだて型学力」について、じっくりと時間をかけて取り組みたいという各協議会からの要望によるものです。成果が見え始めている今の実践を、さらに3年かけて充実させていきます。